

和の住まい

推進リレーシンポジウム

in きょうと



2020年
10月24日(土)

午後1時30分～5時30分
受付開始:午後1時

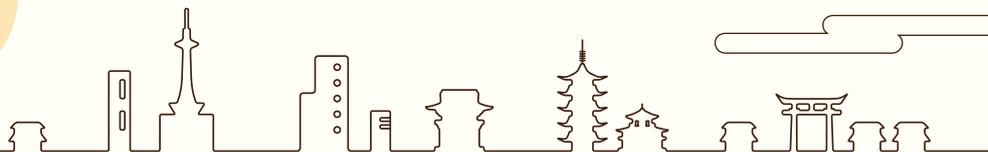
会場

京都市呉竹文化センター

参加無料

要申込
(先着200名)

京都の町家と和のすまい



■ 講演1 『京都らしい住宅の普及啓発について』

京都市都市計画局 住宅室 住宅政策課 / 京都市都市計画局 まち再生・創造推進室

■ 講演2 『日本の伝統木工技術と和のすまい』



矢ヶ崎 善太郎 教授

大阪電気通信大学教授・日本建築史・伝統建築技術

1958年 長野県松本市生まれ
1985年 京都工芸繊維大学大学院工芸学研究科建築学専攻修了
京都工芸繊維大学 准教授などを経て、
現在 大阪電気通信大学工学部建築学科 教授
学位 博士(学術)
専門 日本建築史・庭園史、伝統建築技術、文化財保存技術

主な論文・著書

『建築家・藤井厚二の茶室と茶の湯』(中村昌生先生寿考記念刊行会『建築史論叢』思文閣出版2004年)
『待庵の床の間』考 - 『数寄屋工法集』の「利休閑之事」について』(野村美術館紀要 第15号 2006年)
『京都東山の近代と数寄空間』(日本歴史学会『日本歴史』第752号 2011年)
『植治の庭 - 小川治兵衛の世界』淡交社 1990年(共著)
『町家再生の技と知恵 - 京町家のしくみと改修のてびき』学芸出版社 2002年(共著)
『對龍山荘 植治と島藤の技』淡交社 2007年(共著)
『茶湯古典叢書 五 茶譜 全二冊』思文閣出版 2010年(共編著)
『町家棟梁』学芸出版社 2011年(共著)
『水郷の数寄屋 臥龍山荘』愛媛県大洲市 2012年(全体監修)
『茶湯古典叢書 七 片桐石州茶書』思文閣出版 2014年(共編著)
『茶と室内デザイン』思文閣出版 2015年(共著)
『庭と建築の煎茶文化』思文閣出版 2019年(共編著)
『近代京都の美術工芸』思文閣出版 2019年(共著) など

いつの時代も日本建築史の主役は木造でした。木の性格を読み取りながら建築をつくりつけてきたながい歴史の積みかさねから、建築を使い続ける知恵を育み、自然と共生する生活文化を創造してきたのです。そのような日本の建築文化がいま世界から注目されはじめています。日本の木造建築史のなかに現代の、そして未来の建築をつくる創造力を探ってみたいと思います。



日本には高度に洗練された木工技術による木造建築の伝統が息づいています。その技術と美意識は社寺仏閣や城郭、貴族の館など特別な建物のみならず、庶民の住宅にまで及びます。京都にはその伝統を受け継ぐ住まいとしての京町家が多数、維持され、伝統的な日本文化の継承、及びまちなみ保全に貢献しています。

そこで、これからの京都の住宅について考えるため、日本の伝統建築、特に数寄屋や茶室に造詣の深い矢ヶ崎善太郎先生にお話を伺うこととします。

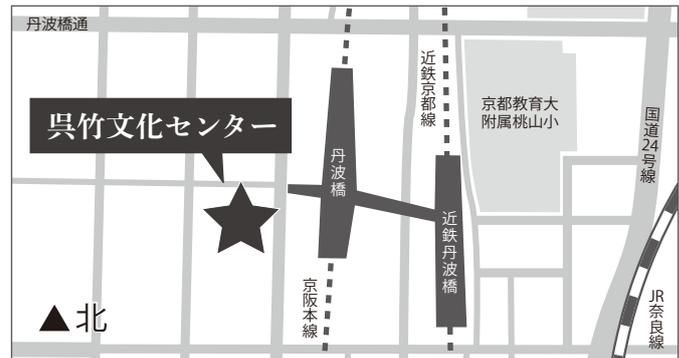
また、京都市では、京都の暮らし・和の文化を活かした京都らしい省エネ住宅の普及を進めるとともに、京都の美しい景観、四季折々の自然と茶道や華道などの歴史に培われた生活文化、洗練された精神文化の象徴である、京町家を保全・継承する施策を展開しており、併せて、その京町家と共存できる新たな住宅(新町家)を普及するための施策を行っています。矢ヶ崎先生のお話しと併せ、京都市の施策についてお聞きすることで、あらためて日本の、そして京都の木造住宅について見直す機会となれば幸いです。

- プログラム**
- 午後1時00分～ 受付開始
 - 午後1時30分～ 開会・挨拶
 - 午後1時40分～ 各官庁の政策発表
 - 午後2時30分～ 講演 1
『京都らしい住宅の普及啓発について』
 - 午後3時30分～ 休憩(15分間)
 - 午後3時45分～ 講演 2
『日本の伝統木工技術と和のすまい』
 - 午後5時15分～ 質疑応答
 - 午後5時25分～ 挨拶
 - 午後5時30分～ 閉会

コロナ感染対策 他

講習会場は、収容定員の50%の人数に制限し、換気に留意して実施します。咳や発熱などの体調不調の症状がある場合は、受講をご遠慮ください。受講にあたっては、マスクの着用・手指の消毒・咳エチケットの励行など感染症予防対策にご協力をお願いいたします。

- マップ**
- 京都市呉竹文化センター**
〒612-8085
京都府京都市伏見区京町南七丁目35番地1
- 交通**
- ▶京阪本線「丹波橋駅」西口前
 - ▶近鉄京都線「近鉄丹波橋駅」西口前
 - ▶市バス「板橋」下車西へ5～8分(南8系統)
 - ▶市バス「西丹波橋」下車東へ10～15分(南8・81系統)



お問い合わせ 京都府すまいづくり協議会 事務局((一社)京都府建築士事務所協会)
TEL:075-334-5277 FAX:075-334-5377 MAIL:syoene@kyoto-kenchiku.com

参加申込書(無料)	
ふりがな	
ご氏名	
ご所属	
ご連絡先 (TELまたはFAX)	

※定員を超えたため受付できない場合にご連絡いたします。